

筋萎縮性側索硬化症(ALS)とは？

- 約140年前にJean-Martin Charcotが遅発性、進行性の運動神経(ニューロン)疾患として筋萎縮性側索硬化症(ALS)を最初に報告。
- 運動神経の上位・下位ニューロンが障害される神経変性疾患
45歳～60歳に発症し、3年～5年で呼吸筋萎縮により自発呼吸不能となり死に至る。
- 大部分(90%)は孤発性で、約10%は家族性ALS。
- 日本で約8300名の特定疾患医療の受給者あり。



“神経学の父”

Jean-Martin Charcot
(1825-1893)